

# 家庭ごみ有料化に関する調査結果について

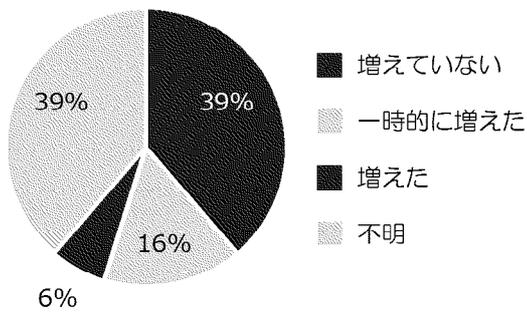
## 1. 調査概要

- 調査対象 中核市 (58)、県内市町村 (54) のうち、有料化を実施している 38 市町村 (中核市 18、県内市町村 20、重複 0)
- 回答数 (率) 31/38 自治体 ( 81.6% )

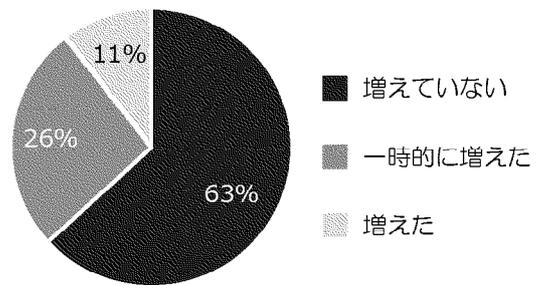
## 2. 調査結果

### (1) 家庭ごみ有料化の導入による不法投棄の変化

#### ① 全回答



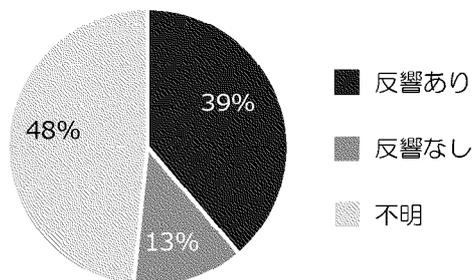
#### ② 有意な回答を選別 ( 19 自治体 )



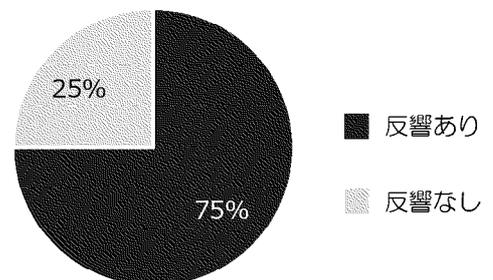
家庭ごみを有料化しても不法投棄は増えていない自治体が多いことが分かります。また、一時的に増えたと回答した自治体も 1, 2 年で有料化以前の水準に戻ったと回答しています。

### (2) 家庭ごみの有料化を導入することへの市民の反響

#### ① 全回答



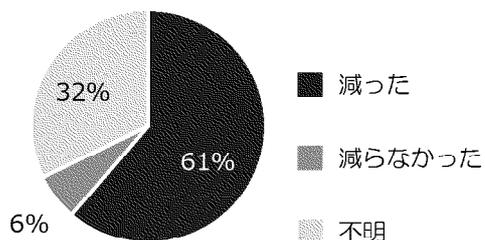
#### ② 有意な回答を選別 ( 16 自治体 )



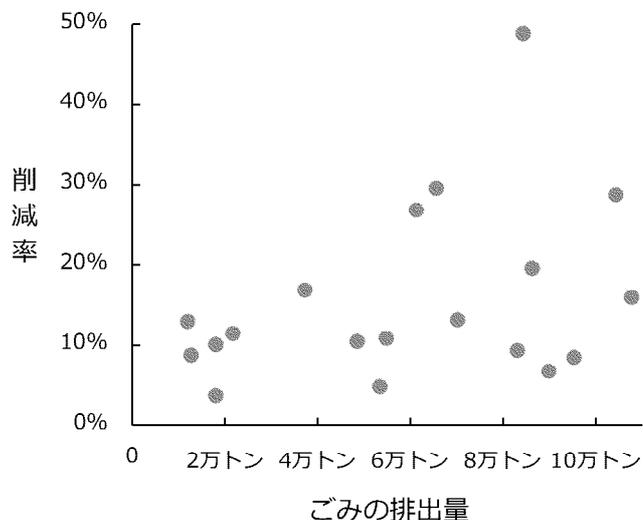
家庭ごみ有料化の導入は市民からの反響が起こりやすい制度ではあるものの、必ずしも反響が起こるわけではないことが分かります。反響が無かった自治体の多くは、導入前の丁寧な住民説明をその要因としています。

### (3) 家庭ごみ有料化の導入によるごみ排出量の削減

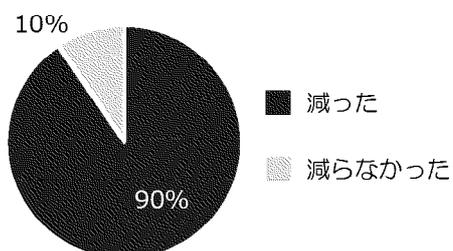
① 全回答



③ 自治体ごとの削減率の分布 (19自治体)



② 有意な回答を選別 (21自治体)

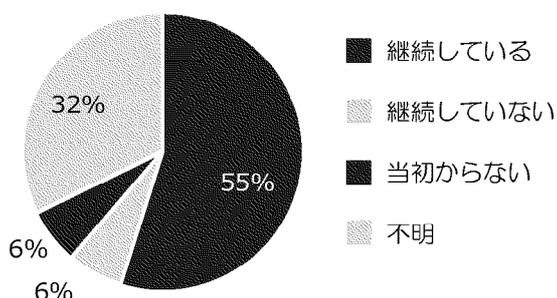


家庭ごみの有料化は、ごみ排出量の削減に効果があるとは必ずしも言い切れないものの、ごみ排出量の削減効果が強く期待できる制度であることが分かります。

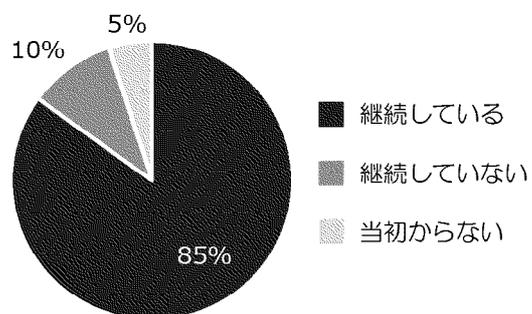
また、ごみ排出量の削減率が4割を超える自治体がある一方で、1割に満たない自治体があるなど自治体ごとのばらつきが大きく、地域差が表れやすい制度であることが分かります。

### (4) (3) の継続性

① 全回答



② 有意な回答を選別 (20自治体)



家庭ごみ有料化の排出削減効果は、継続性\*があるとは必ずしも言い切れないものの、継続性が強く期待できる制度であることが分かります。

\*家庭ごみ有料化の導入翌年度以降のもやすぐみ排出量(年間)が微減又は横ばい傾向で推移している自治体を抑制効果が継続している自治体と定義しています。